

競技上の注意事項

この記録会は、2021年日本陸上競技連盟競技規則によるほか、次の申し合わせ事項によって行う。
また、自然災害や新型コロナウイルス感染状況等によっては、大会中であっても中止、中断する場合がある。

1. 招集について

- (1) 招集場所は、第1ゲート（100m スタート地点後方）とする。
- (2) 招集開始から完了時刻までの間に招集所で、競技役員にアスリートビブスの確認をうける事。（1500m以上のトラック種目は、腰ナンバーを受け取る。（ゴール後、返却すること。）
- (3) 最終点呼後は各自でトラックのスタート地点、フィールドはピットに移動する。
- (4) 出場する競技種目を欠場する場合は、招集完了時刻前までに招集所の競技者係へ欠場届けを提出する。
- (5) 招集時刻に遅れた場合、競技者は棄権したものとして処理される。（競技の進行が早まる場合はその都度アナウンスがあるので注意すること。）
- (6) リレーのオーダー用紙は招集所で配布する。オーダー用紙は第1組目の招集完了時間**1時間前までに招集所に提出する事。**
- (7) 招集完了時間は下記のとおり。

種別	招集完了時間
トラック	20分前
フィールド	40分前

2. 練習について

練習は係員の指示により実施する。

- (1) 本トラックでの練習は、競技開始20分前まで開放する。
フィールド競技の各ピットは、競技に支障がない範囲で開放するが、競技役員の指示に従って使用すること。
- (2) 直線走路および、バックストレート外側を常時開放する。直線競技実施時にはバックストレートの全部を開放する。雨天走路での練習は、原則すべて禁止する。但し、雨天時は別途指示する。
- (3) 雨天走路での走幅跳の競技中における調整練習は認める。
- (4) 投てき競技種目の練習は、投てきピットのみとし、投てきピット以外での練習は禁止する。

4. アスリートビブスについて

- (1) 各競技者は、プログラムに記載された番号と同じアスリートビブスをユニフォームの胸部または背部に付ける。
- (2) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか片方でもよい。
- (3) 1500m以上の中・長距離の競技に出場する競技者は腰ナンバー標識をパンツの右側後方に付ける。
腰ナンバー標識は招集所で配布する。

5. 競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。また、地震・雷雨等の自然災害やJアラート発動の場合は、競技を中断し安全が確認された後に再開する。
- (2) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判及び該当補助員）以外は立ち入ることはできない。
- (3) 競技者がレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持

ち込んだり、使用しての助力は許されない。※通信機能付の腕時計を装着する場合は通信機能をオフにしておくこと。

- (4) トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定で行う。
- (5) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の邪魔をしない。
- (6) リレー競技においてはチームの出場者は同系色のユニフォームを着用するものとする。
- (7) 4×100mR 競技における第 2、第 3、第 4 走者は、自チームで用意する最大 50mm×400m の粘着テープをマーカーとして 1ヶ所使用することができる。なお、競技終了後、使用してマーカーは責任を持って取り除くこと。
- (8) テイク・オーバーゾーンは 30m とし、次走者のスタートはゾーン内からスタートしなければならない。
- (9) フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。走幅跳、走高跳、砲丸投については 1 分以内でスタートしなければならない。棒高跳は 1 分でスタートしなければならない。
- (10) 走幅跳、棒高跳に出場する競技者は助走路の外側に主催者が準備したマーカーを 2 個までおくことができる。
- (11) 棒高跳に出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
- (12) 各レースで不正スタートは一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。スタートの合図については英語で行う。

6. 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は次のようにする。

種 目	性別	競 技	練 習
走高跳	男	1m35-1m40-45-50-55-60・・・以上 3cm きざみ	1m30
	女	1m20-1m25-30-35-40-45・・・以上 3cm きざみ	1m15
棒高跳	男	1m80-1m95-2m10-2m20・・・以上 10cm きざみ	1m70

(1)天候その他の関係で変更することがある。

(2) 競技場設置の滑り止め（炭酸マグネシウム）は感染防止のため共用しないので、必要な競技者は各自で準備すること。

7. スパイク（シューズ）の制限について

本競技場におけるスパイクピンの数は 11 本以内とする。また、スパイクピンの長さは 9mm 以内とする。走高跳については 12mm 以内とし、先端の直径は 4mm 以内でなければならない。

陸連規則 1 4 3 条 (TR5: 規格外シューズ) 改定に伴い、規定外のシューズは使用できない。但しフィールド競技は適用外とする。

8. その他

- (1) 会場への入場時はチーム代表者が受付にて「体調管理チェックシート」等の確認を受けること。確認がない場合は、参加を認めない。
- (2) 応急措置、その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡すること。救護場所は雨天走路に設置する。応急措置は行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 感染防止のため、本競技会は無観客で行うが、小学生の引率者のみ正面スタンドを開放する。但し、入場口はコンコースへの階段右側の 1ヶ所とする。
- (4) 感染防止のため、芝生スタンドからの応援は禁止する。
- (5) 選手の待機場所は芝生スタンドとするが、芝生スタンドでは通路を空けること。また、感染防止から 3 密を避けること。
- (6) ゴミは各校（各自）持ち帰ること。